

徳丸協栄会

戦後急速な経済復興と人口増加に伴い各地で町会設立の気運が高まる中、徳丸協栄会も昭和23年に設立されました。初代会長は矢島治男氏です。会則第一条は『会員相互の親睦を図り社会生活の福利増進を図ることを目的とする』とあります。

その精神は現在も引き継がれ、会員数も大幅に伸び徳丸協栄会は今年七十三年目を迎えます。協栄会の地域の特徴は坂が多いが公園があり、幹線道路に面していない為暮らしやすいところ。また、小学校や幼稚園があり子育て世代が比較的多いところ。それが若い世代の会員数増加につながり町会全体の活性化となっています。（平成23年には若い世代中心の青年部が発足しました。）

町会の活動は春の桜まつりや夏の盆踊り、秋の神輿行事を開催することを中心に防犯や防災、見守りなど近年益々多岐にわたっています。若い方からご高齢の方まで様々な家族形態の中で皆さん積極的に参加して頂いています。ここ2年はコロナの影響でこのような活動も制限された状態ですが、このような時代だからこそ益々地域のつながり、心の支えとして町会の存在が重要になると再認識し、活発に活動を持続させていきたいと考えています。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています